

～日本最古の音楽ホール“奏楽堂”で日本最古のコンサートオルガンを愉しむ～

大正9年(1920)7月にイギリスから渡ってきたパイプオルガンは、紀州徳川家16代当主、徳川頼貞侯の自邸にあった音楽ホール“南奏楽堂”に設置され、同年11月にお披露目演奏会が開催されました。その後、パイプオルガンは昭和3年(1928)に東京音楽学校奏楽堂に移設され、現在でも現役のコンサート用オルガンとして、その音色を愉しむことができます。

このパイプオルガンが産声を上げてから、今年で100年目を迎えたことを記念し、パイプオルガンの音色を存分に堪能できる記念演奏会と、パイプオルガンの所有者であった徳川頼貞侯ゆかりの音楽資料を一堂に会した記念企画展を開催します。このほか、11月にはオルガンコンサートが数多く開催されます。



パイプオルガン演奏台からの眺め

パイプオルガン100周年記念演奏会 ～日本最古のコンサートオルガンで聴く協奏曲～

出演者プロフィール



三上 郁代 (オルガン) みかみ いくよ

東京藝術大学オルガン専攻卒業、同大学院修士課程修了。卒業時同声会賞受賞。渡仏しトゥールーズ及びカン地方音楽院で学び、オルガンを満場一致の成績で修了、チェンバロ、通奏低音のディプロマ取得。第9回M.タリヴェルディエフ国際オルガンコンクールにて、コンクール史上初めて第一位とタリヴェルディエフ作品最優秀演奏特別賞を同時受賞。第12回A.マルシャル国際オルガンコンクール優勝。2018年度上期野村財団奨学生。これまでにオルガンを大塚直哉、秀村知子、今井奈緒子、廣江理枝、W.ヤンセン、M.ブヴァール、E.ル・ブラドの各氏に師事。日本以外にもフランス、オランダ、チェコ、ラトビアで演奏会を行う。横浜みなとみらいホール ホールオルガニスト・インターナショナル・プログラム第18期生。日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。



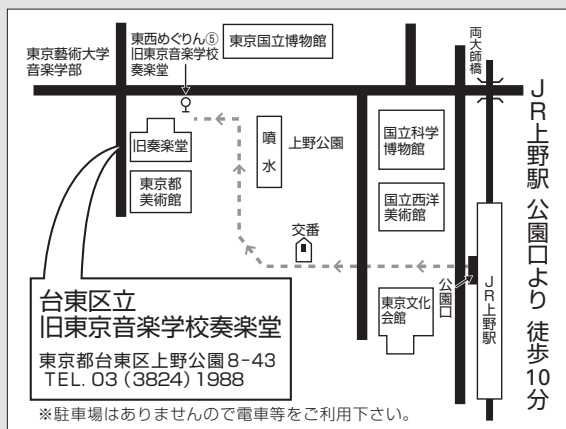
伊藤 翔 (指揮) いたう しょう

桐朋学園大学卒業。2016年に「第1回二ノノ・ロータ国際指揮コンクール」第1位、同時にオーケストラ賞を受賞。2020年第26回エネルギー賞音楽賞受賞。これまでに大阪フィル、神奈川フィル、九響、京響、新日本フィル、仙台フィル、東京シティ・フィル、東フィル、名フィル、日本センチュリー、日本フィル、兵庫芸術文化センター管、広響、山響等に客演し、海外では、クラクフ国立室内管やジェシュフ・フィルハーモニー管弦楽団、マグナ・グレシア・オーケストラへの客演が好評を博す。また合唱指揮として2017年NHK交響楽団の公演を成功に導いた。12年まで神奈川フィルハーモニー管弦楽団副指揮者を務めた。



尾池 亜美 (コンサートマスター) おいけ あみ

東京生まれ。日本モーツァルト音楽コンクールに最年少で入賞。江藤俊哉ヴァイオリンコンクール優勝。日本音楽コンクール第一位、聴衆賞(岩谷賞)ほか受賞。RNCMマンチェスター国際ヴァイオリンコンクール優勝、委嘱作品最優秀演奏賞。東京藝術大学附属高校、同大学卒業。ローザンヌ高等音楽院ソリスト修士課程修了。ソリスト、室内楽奏者として国内外で精力的に活動中。東京藝術大学講師。紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。
www.amiiito.com



台東区立旧東京音楽学校奏楽堂

東京都台東区上野公園8-43



- JR 『上野駅』 公園口 徒歩約10分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線 『上野駅』 徒歩約15分
- 京成線 『京成上野駅』 徒歩約15分
- 台東区循環バス「東西めぐりん」 『⑤旧東京音楽学校奏楽堂』 徒歩約1分



お客様へのお願い

- ・当日37.5度以上の発熱や咳、のどの痛みなど風邪のような症状のある方はご入館をお断りいたします。
- ・敷地内ではマスクの着用をお願いします。コンサート中もマスクを着用したままで鑑賞ください。
- ・館内では、お客様同士の距離を適切に保ち、会話を控えていただき、密接・密集を避けてください。
- ・入館時に手指の消毒、検温、チェックリストの記入・提出にご協力ください。当館ホームページでチェックリストを予めダウンロードして、当日ご記入いただいたものをお持ちいただくと、スムーズにお入りいただけます。
- ・その他、諸注意について、当館のホームページでご確認ください。